

第3期横浜市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）及び  
第4期横浜市国民健康保険特定健康診査等実施計画素案に係る  
市民意見募集の結果概要について

令和6年度から令和11年度までの6年間を計画期間とする「第3期横浜市国民健康保険保健事業実施計画（データヘルス計画）及び第4期横浜市国民健康保険特定健康診査等実施計画」の策定に向け、市民意見募集を実施しましたので、その結果概要について御報告します。

## 1 実施概要

### (1) 実施期間

令和5年10月2日（月）～10月31日（火）

### (2) 周知方法

ア 素案の配布（素案冊子 306部、リーフレット 306部）

市役所、区役所

イ 関係団体等への説明

市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、市国民健康保険保健事業評価・向上委員会

ウ 広報

市ウェブサイト、広報よこはま

## 2 実施結果

### (1) 意見総数

21件（14人）

### (2) 提出方法の内訳

電子申請 8人

電子メール 1人

郵送 1人

その他 4人

### (3) 意見の内容

計画全体に関すること	2件
第1章 計画の概要	0件
第2章 第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画の振り返り	3件
第3章 データ分析の結果に基づく健康課題	6件
第4章 計画の取組	8件
第5章 資料編	1件
その他	1件
合計	21件

### 3 主な意見

(1) 意見を踏まえ、原案に反映するもの < 7件 >

- ・計画の指標が複雑なものについては、説明・計算式・定義等を記載してほしい。
- ・歯周病の早期予防として、40代から歯周病検診を受けるよう促してほしい。オーラルフレイルの認知度を向上させることが、全ての医療費適正化につながる。

(2) 意見の趣旨が素案に含まれているもの又は素案に賛同いただいたもの < 2件 >

- ・全体的にオーソドックスなデータ分析に基づいて計画を立てられており、しっかりと考えられている。

(3) 今後の検討の参考とさせていただくもの < 9件 >

- ・休日に健診を受けられる体制の強化が40代から50代の健診受診につながるのではないかな。
- ・口腔は全身の健康とも関わりがあるので、口腔機能の維持、向上を行うことで「オーラルフレイル→フレイル、サルコペニア（加齢による筋力低下等）→要介護」という流れを止めてほしい。

(4) その他（質問・感想等） < 3件 >

- ・データソースが一般論と特定健診に偏り過ぎている。

### 4 策定スケジュール（予定）

令和5年 12月 常任委員会（市民意見募集の結果）

※議会基本条例に基づく議決事件に該当するか御判断いただきます。

令和6年 1月 原案の検討・作成

2月 常任委員会（原案）

※議決事件に該当する場合、第1回市会定例会に議案を提出します。

3月 計画策定

## いただいた意見及び対応分類一覧

番号	意見	対応分類
<b>計画全体</b>		
1	調剤薬局は、保険薬局と記載した方が良い。	①
2	全体的にオーソドックスなデータ分析に基づいて計画を立てられており、しっかりと考えておられると思えました。基本的な方向性は前回の計画とあまり変わりはありませんでしたが、逆に奇抜な新目標よりも、地道に向上させていくことが重要という良いメッセージになっていると感じました。(前回の計画の完成度が高かった、とも言えるかもしれません。)	②
<b>第2章 第2期データヘルス計画及び第3期特定健康診査等実施計画の振り返り</b>		
3	歯周病の予防としては40代からの歯周病検診が重要である旨を記載して促してほしい。	①
4	虫歯、歯周病、オーラルフレイルの予防は健康寿命の延伸に繋がることを記載してほしい	③
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・義歯を入れている人と入れていない人の認知症に対する相関図</li> <li>・年1度も歯科健診を受けない人、悪くなってから歯科医院来院をする人のテンションをあげるには？</li> <li>・日本国と他国の歯科衛生的概念と保険システムについての違い</li> <li>・学校歯科健診においてう蝕、歯肉炎のあるなしの著しい二極分化は家庭内にどうやって介入するか？</li> </ul>	④
<b>第3章 データ分析の結果に基づく健康課題</b>		
6	横浜市が慢性腎臓病(CKD)全体の対策ではなく糖尿病重症化対策にのみ重点を置く根拠としている、新規透析導入患者の原因における糖尿病の割合の約80%という数値は、日本透析医学会や神奈川県による糖尿病性腎症の割合の約40%と比較してかなり過大な数値であり、慢性腎臓病(CKD)の原疾患(原因)も正確に分析されていない可能性が大きいと考えられます。	①
7	歯周病の早期予防として、40代から歯周病検診を受けるよう促してほしい オーラルフレイルの認知度を向上させることが、全ての医療費適正化につながる	①
8	<p>該当ページp27からの「健康課題」p86「計画の評価・見直し」に関連して全体を読んだ感想は、健康課題を医療費の視点から浮き彫りにすることだけになっていて、「生活の質」の視点、言い換えると「健康で文化的な生活」を送る上での健康課題は何かという視点がないように感じます。私は、78才で国保加入者ではありませんが、国保加入時の保健事業の重要性を体験的に感じているものとして、今後の保健事業の方向性に意見を述べさせていただきます。日本は、世界1の超高齢社会になっています。それにふさわしい保健事業の内容はどうあるべきか、とりわけ前期高齢期をより健康で過ごせるための対策が重要と考え、以下のような新たな保健事業を付け加えるべきと考え、3点提案をします。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 政府も対策の強化を呼びかけているフレイル対策 65歳以上は、フレイル健診又はフレイルチェックを、市独自健診項目として付け加える。</li> <li>2. 横浜市が先進的にすすめている「もの忘れ検診」に関連して 国保健診の中で位置づけ、その受診をよびかけ、受診後の生活改善指導内容を充実させることで、MCI段階で正常に戻る人を増やすことを目標に掲げる。</li> <li>3. 今後、85歳以上が急増時代、認知症予防が重大テーマです。 認知症予防に効果が期待される第1位が難聴対策であることが国際的に確認されています。難聴を早期発見、早期対応のための切り札は聴力検査です。横浜市独自健診として、65才以上(可能なら40才から)の任意検診として聴力検査の導入を強く期待します。</li> </ol>	③
9	残存歯数と糖尿病、医療費の関係をデータとして出してほしい。 周術期の口腔管理は、術後の効果改善につながる所以他の疾患にも対応して欲しい	③

## 【対応分類】

- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの
- ②意見の趣旨が素案に含まれているもの又は素案に賛同いただいたもの
- ③今後の検討の参考とさせていただくもの
- ④その他(質問・感想等)

番号	意見	対応分類
10	横浜市における生活習慣病や透析医療の現在の国保対象の実態調査の方式では横浜市の慢性腎臓病(CKD)患者や新規透析導入患者数や慢性透析患者数の状況を十分に把握できていないのが現状であると考えられます。 横浜市において、行政・かかりつけ医を含む多職種と連携し腎臓専門医も参画する慢性腎臓病(CKD)対策・診療連携体制構築は、費用効果的視点からの分析においてもその重要性が明らかであり、健診からの包括的な慢性腎臓病(CKD)対策の推進について、次期の横浜市データヘルス計画の『第3期横浜市国民健康保険保健事業実施計画(データヘルス計画)及び第4期横浜市国民健康保険特定健康診査等実施計画』に記載すべきであると考えます。 横浜市医療局を含めて多職種の参画により発足した『横浜慢性腎臓病(CKD)対策協議会』とも密接に連携すべきであると考え提案申し上げます。	③
11	データソースが一般論と特定健診に偏り過ぎている嫌いが目立ちます。香川県や北海道などでは歯の数と医科の医療費との関係についてデータを公表しています。医療費の削減には歯の数を維持することが重要なことを行政が理解していないので計画としてはお粗末と言えます。	④
<b>第4章 計画の取組</b>		
12	現在指標として用いられているメタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率については、今年度内臓脂肪症候群該当者・予備群ではなくなった者の数の割合を前年と比較しており、2年連続特定健診受診が前提になっていることなどから、たまたまそうだったという結果と読み取れることになるので、指標として意味がないのではないかと？ メタボの人が減ったということの評価するには、(特定健康診査が開始された)平成20年度からどう減ったかという国の指標の方がいいと思われる。(メタボリックシンドローム該当者及び予備軍の減少率＝{(平成20年度メタボリックシンドローム該当者及び予備群推定数－当該年度メタボリックシンドローム該当者及び予備群推定数)／平成20年度メタボリックシンドローム該当者及び予備軍推定数}×100)	①
13	冊子の計画には、指標が複雑な物については、説明・計算式・定義等を記載していただきたい。	①
14	歯周病は糖尿病の合併症の一つになっており、糖尿病に限らず全身疾患にも関りがあるので歯周病治療を強化していくことで糖尿病の重症化予防をおこなっていくことが必要だと思います。	①
15	みなし健診について、人間ドックの活用をより推進してほしい。	②
16	休日に健診を受けられる体制の強化が40代から50代の健診受診に繋がるのではないかと考えています。	③
17	特定保健指導が実施できる施設があまりにも少なすぎる。歯科医院でも特定保健指導ができるので、歯科医師会等の団体に働きかけて実施施設を増やしてほしい。 口腔は全身の健康とも関りがあるので、しっかり噛める、何でもかめるように口腔機能の維持、向上をおこなうことで「オーラルフレイル→フレイル、サルコペニア(加齢による筋力低下等)→要介護」という流れを止めてほしい。	③
18	横浜市歯周病検診を20歳からにしてほしい 検診にオーラルフレイルの項目を入れて欲しい	③
19	歯周病検診を20歳から取り入れて欲しい	③
<b>第5章 資料編</b>		
20	口腔機能低下症の各検査項目の検査結果をデータ化して、今後の改善指導の指針にしてほしい。 小児口腔機能発達不全症の口唇閉鎖力のデータを収集し、各種指導による効果を検証してほしい。	③
<b>その他</b>		
21	75歳からは受診券が来ないので、受診券が来ると思って待っている人は、受けなくなってしまうことがある。また、75歳以上になると、紙の健診結果になり、クレームになることがある。制度がぶつ切りになることで戸惑う方もいる。	④

- 【対応分類】
- ①意見を踏まえ、原案に反映するもの
  - ②意見の趣旨が素案に含まれているもの又は素案に賛同いただいたもの
  - ③今後の検討の参考とさせていただきますもの
  - ④その他(質問・感想等)